



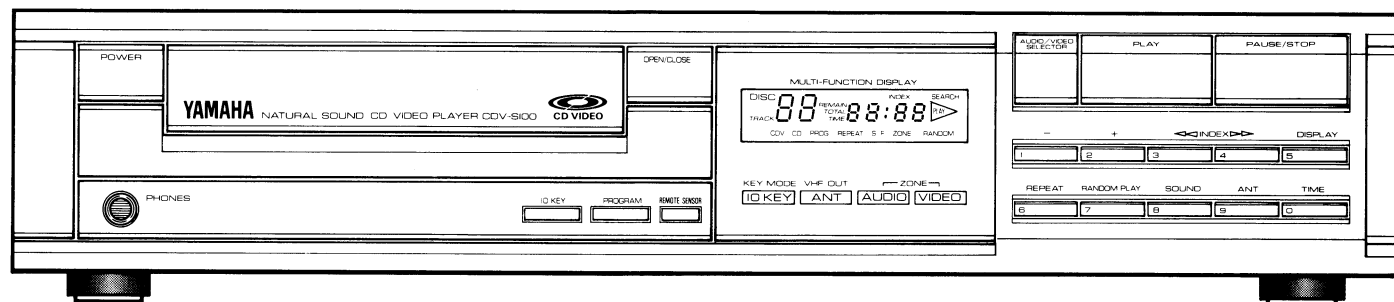
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

digital
SOUND

CDV-S100

NATURAL SOUND CD VIDEO PLAYER

取扱説明書



NTSC

YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

特長

このたびは、ヤマハCD VIDEOプレーヤーCDV-S100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CDV-S100の優れた性能を充分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読み下さいますよう、お願いいたします。また、取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

目次

特長	1
豊かなAVライフのために	2
ご使用の前に	3
ディスクについて	4
リモコンを使う前に	6
リアパネルの名称とはたらき	7
接続のしかた	8
フロントパネルの名称とはたらき	12
リモコンの名称とはたらき	14
再生のしかた(基本操作)	15
表示切換について	18
音声切換について	19
選曲のしかた	20
プログラム再生	21
インデックスサーチ	23
リピート再生	24
ランダム再生	25
タイマー再生	25
ヘッドホンについて	26
テレビ放送を見るには	26
故障かなと思ったら	27
参考仕様	29
ヤマハホットラインサービスネットワーク	30

●CD、CDVの2種類のディスクの再生ができます。

本機はCD(コンパクトディスク)と、最新のAVソースCDV(コンパクトディスクビデオ)の再生ができます。どちらのディスクでも、本機が自動判別し再生を始めます。

●CDVディスクの場合、再生開始するパートの設定ができます。

AUDIO/VIDEO SELECTORキーを押すことにより、スタート時に再生したいパートを切り換えることができます。また、再生中にAUDIO/VIDEO SELECTORキーを切り換えることにより、CDVのビデオパート、オーディオパートの始めをダイレクトに呼び出すことができます。

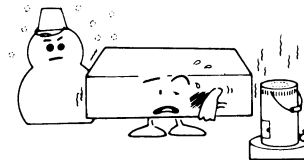
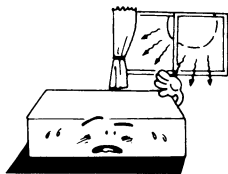
●オンスクリーン表示

多彩なモニター画面表示機能により、ディスク情報や動作状態の確認が容易にできます。

豊かなAVライフのために

高温・低温はさけて！

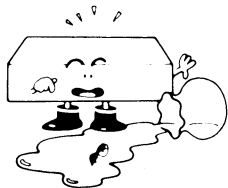
窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



結露現象について

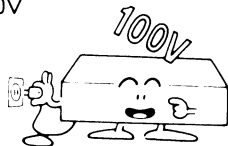
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

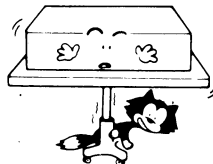


国内のみ使用できます

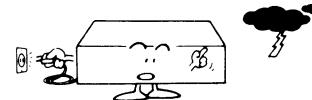
家庭用電源コンセント
AC100V



不安定な場所をさけて！



雷が近づいたら

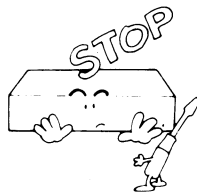


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないでください。

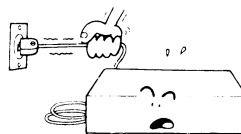
薬物厳禁



開けないで！



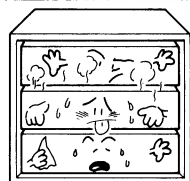
コードを引っぱらないで！



上にのせないで！



通気性に注意



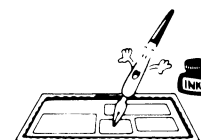
こわれた？



27. 28ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

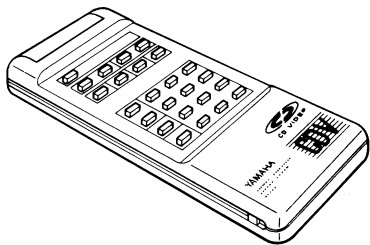


ご使用の前に

付属品を確認してください

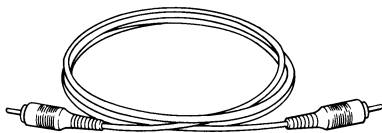
付属品は6点あります。

● リモートコントロールユニット (RS-S100)



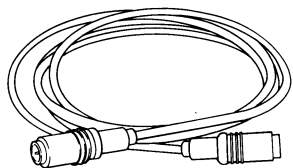
● 映像ケーブル

カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機のVIDEO OUT端子と、カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します。



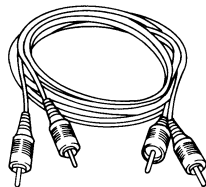
● RFケーブル

テレビと本機のVHF/CDV OUT 端子を接続するときに使用します。ご使用になるテレビのアンテナ端子の形状によっては、このケーブルの一端を加工して使用します。



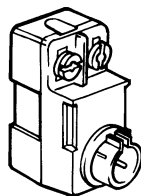
● 音声ケーブル

本機のAUDIO OUT端子とステレオアンプやAV テレビの音声入力端子の接続に使用します。



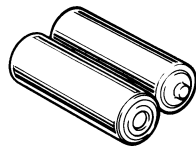
● F型プラグアダプター

ご使用のVHFアンテナケーブルを本機のANT INへ接続するときに使用します。



● 乾電池

単3 (SUM-3) × 2本



本機の設置場所について

- 本機を設置する際は、振動の少ない水平な場所を選んでください。また、アンプなどの熱を発生する機器の上には設置しないでください。他のオーディオ機器と一緒にラックなどにいれる場合には、アンプなどから出る熱の影響を避けるため、アンプよりも下の棚(ホコリをかぶる心配のない、できるだけ下の棚)にいれ、風通しを良くしてご使用ください。
- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- 本機がチューナーなど、他の機器に妨害を与えるようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないように離して設置してください。

結露現象について

- 冬期などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは、正常な動作ができませんので、その様な場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置し、本機を室温に保って露が消えてから操作をしてください。

結露と同じ症状は、夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

ディスクについて

本機で再生できるディスクについて

■本機には下記のマークのついたディスクをお使いください。

CD(コンパクトディスク)／ディスクカラー：シルバー



CDV(コンパクトディスクビデオ)／ディスクカラー：ゴールド



※本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL、SECAM)の表示のあるCDVディスクは使用できません。

CDVディスクについて

CDV(コンパクトディスクビデオ)は、CDと同じサイズ(直径12cm)のディスクに、5分間の映像(ビデオパート)と20分間の音声(オーディオパート)を収録した新しいAVソフトです。CDと区別するために、ディスクカラーはゴールドとなっています。

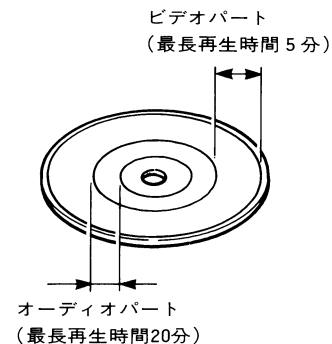
CDVでは、ディスクの外周部分に最長5分間のビデオパート(デジタル音声付映像)が収録されており、ビデオクリップなどを、デジタル音声付レーザービジョンディスクと同様の高画質、高音質でお楽しみいただけます。

また、ディスクの内周部分には最長20分間のオーディオパート(デジタル音声)が収録されており、CDと同じクオリティの音質をお楽しみいただけます。

本機は、セットされたディスクがCDかCDVかを自動検出し、AUDIO／VIDEO SELECTORキーで選択したパートから再生を開始します。

CDと同じ手軽さで、CDVの音と映像をお楽しみください。

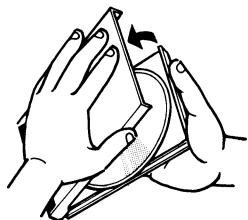
CDVの構成



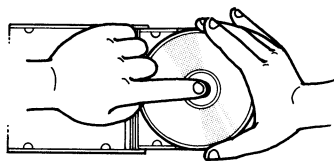
CD、CDVの取り扱い

■ケースからの取り出しかた

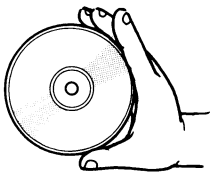
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押え、右手でディスクを持ち上げます。

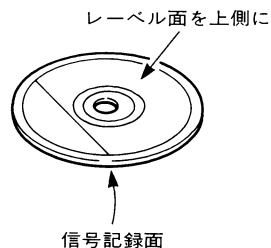


3. 指紋などの汚れをつけないためできるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

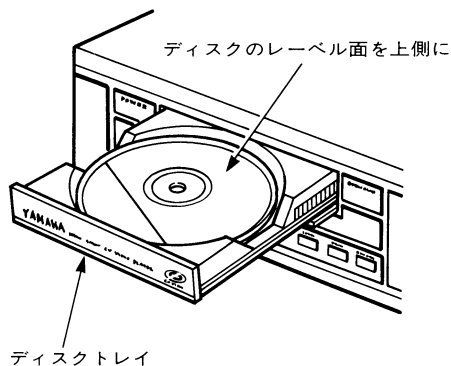


■ディスクのセット

ディスクは必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
(収録されているのは片面だけです。)



※市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



■取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、画質・音質にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



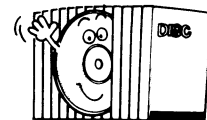
- 曲げたりしないでください。



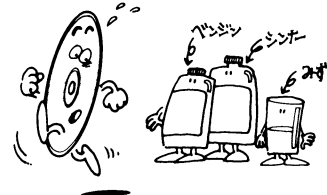
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



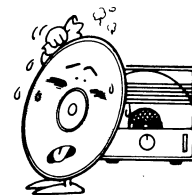
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



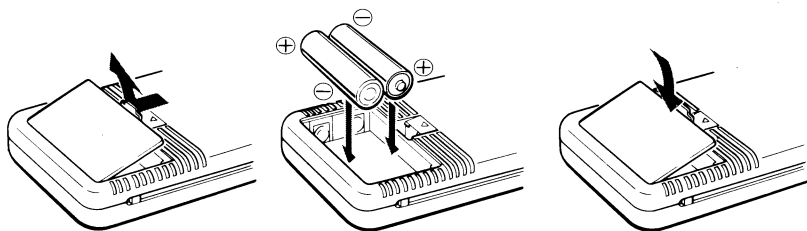
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。ディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



リモコンを使う前に

電池の入れかた

- ①リモコンユニット裏側のふたをはずします。
- ②付属の電池SUM-3型(単3) 2本を、⊕⊖の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。
- ③電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。



●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

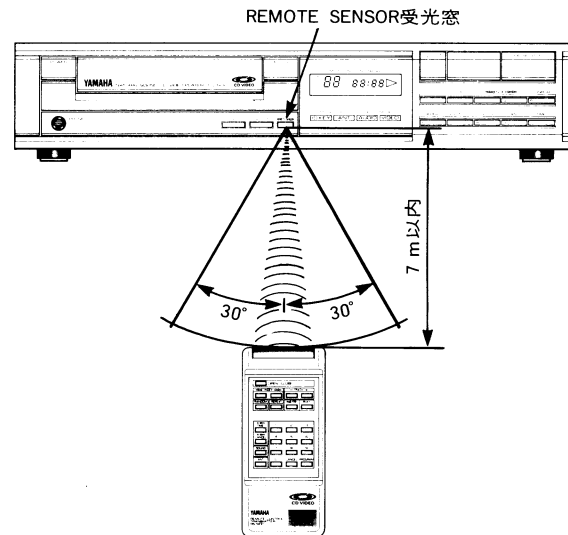
乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池を、混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも、性能の異なるものがあります。
- 電池には、充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。万一液漏れが起こったときは、電池ケースや電極についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンについてのご注意

リモコンの使用範囲は



リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているかどうかもお確かめください。

付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

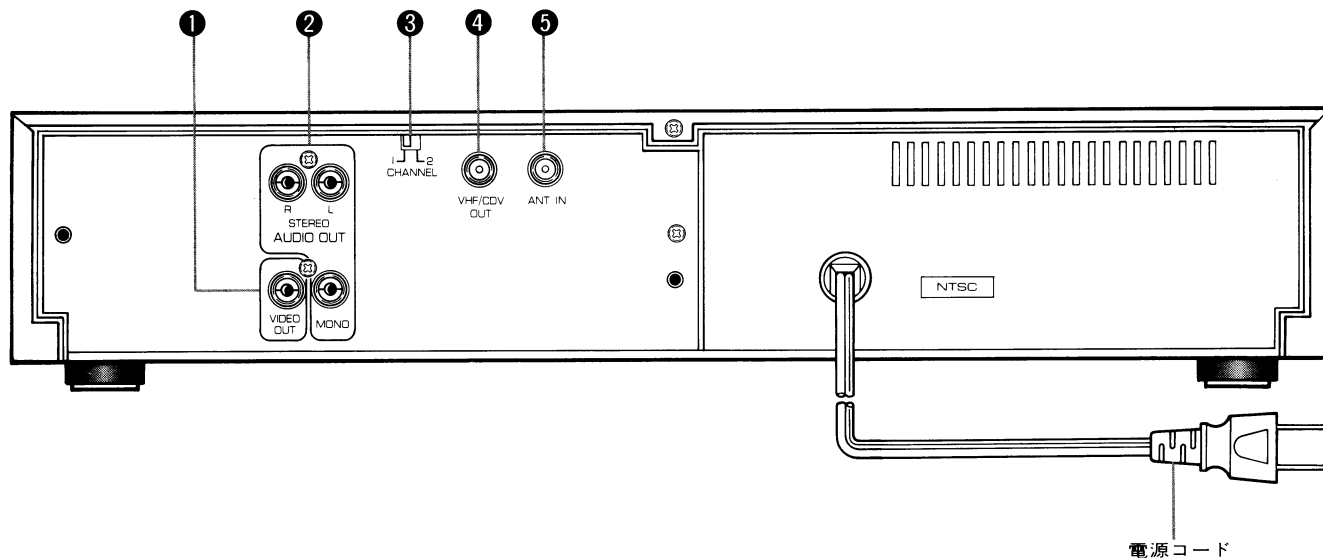
ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、動きにくくなります。

リアパネルの名称とはたらき



① VIDEO OUT端子

映像信号を出力する端子です。

② AUDIO OUT端子

音声信号を出力する端子です。

STEREO R, L：音声がステレオで出力されます。

MONO：音声がモノラルで出力されます。

③ CHANNEL切り替えスイッチ

VHF/CDV OUT端子からの出力信号のチャンネルをテレビの空きチャンネル

(1 chまたは2 ch)に合わせて切り換えるスイッチです。

④ VHF/CDV OUT端子

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。付属のRFケーブルを使ってテレビのVHF入力端子に接続します。音声はモノラルです。

⑤ ANT IN端子

VHF用テレビアンテナから、またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。

電源コードの極性表示について

本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側を、コードに白線で表示)がされています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。AC100Vの家庭用コンセントかアンプの電源コンセントに接続しますが、アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば、電源コードの極性の向きを合わせて接続してください。家庭用コンセントに接続する場合、極性表示のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。本機の消費電力は17Wです。アンプの電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。

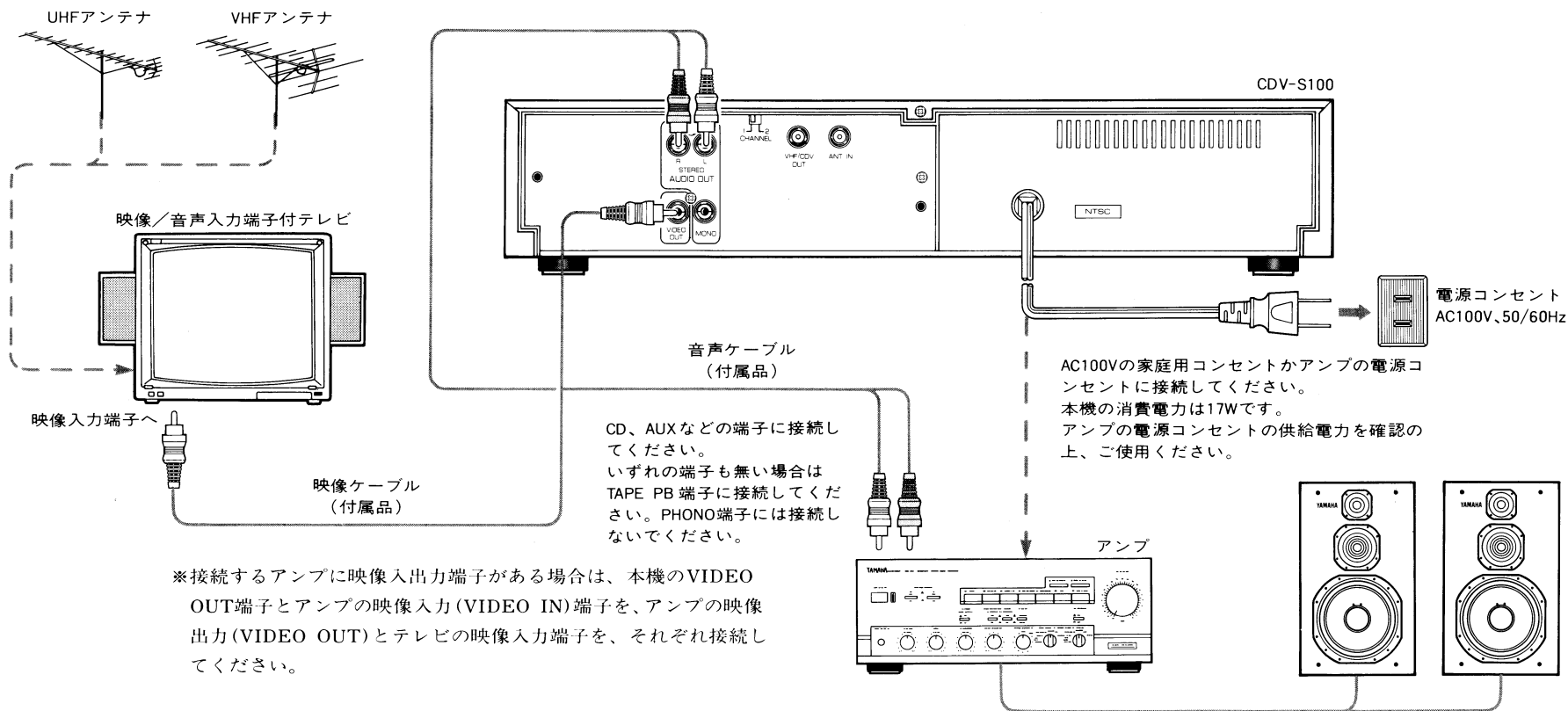
接続のしかた

接続時の注意

1. すべての機器の電源を切って接続してください。
2. 接続コードは左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認して正しく接続してください。
3. 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
4. 組み合わせるテレビによって接続方法が異なります。お手持ちのテレビにあった接続方法を選んでください。
5. 接続する他の機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

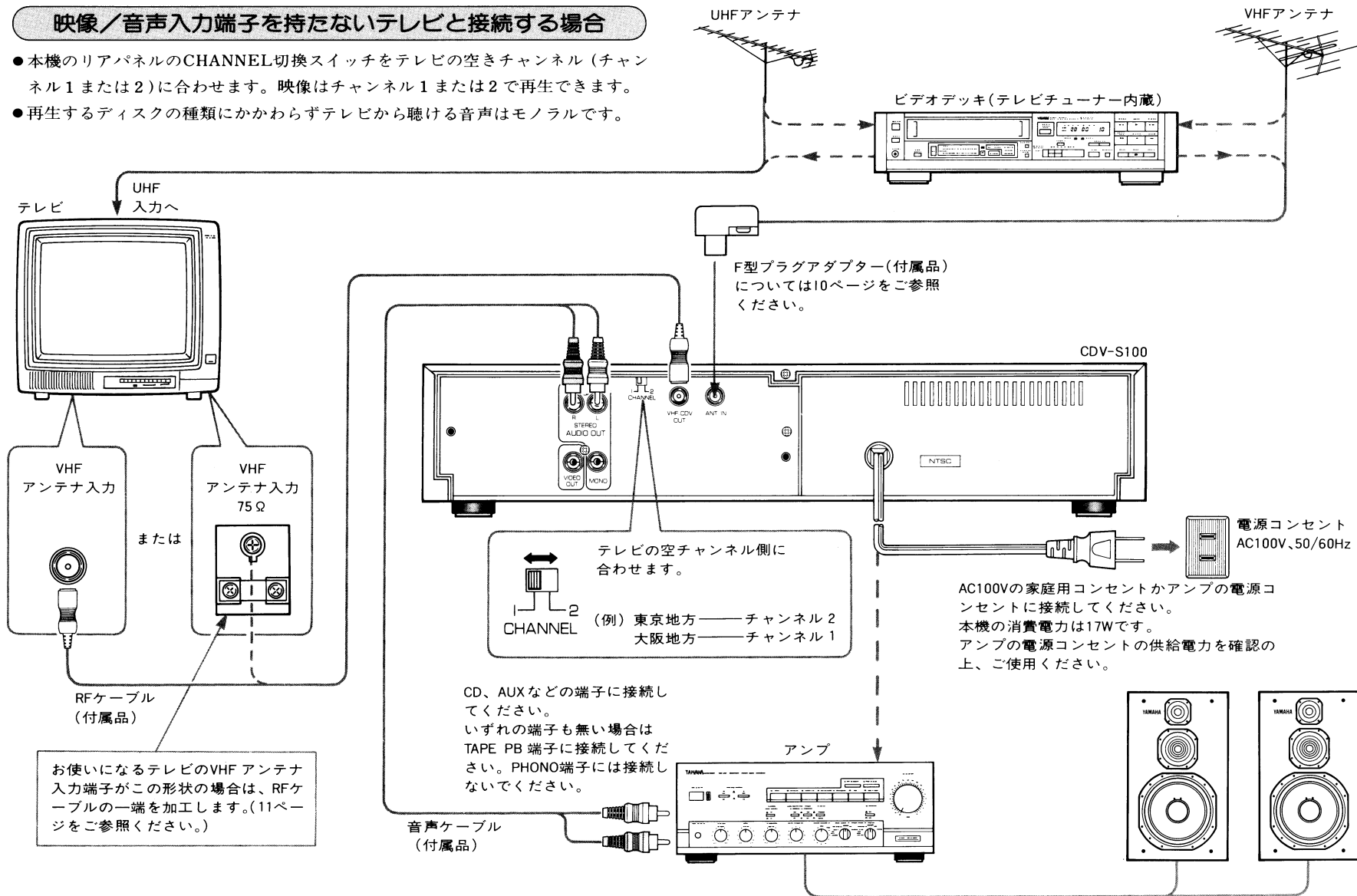
映像／音声入力端子のあるテレビと接続する場合

- この接続の場合、付属のRFケーブルは使用しません。
- 映像はテレビをビデオ入力にすれば再生できます。



映像/音声入力端子を持たないテレビと接続する場合

- 本機のリアパネルのCHANNEL切換スイッチをテレビの空きチャンネル（チャンネル1または2）に合わせます。映像はチャンネル1または2で再生できます。
- 再生するディスクの種類にかかわらずテレビから聴ける音声はモノラルです。

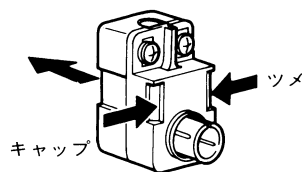


■付属のF型プラグアダプターの使いかた

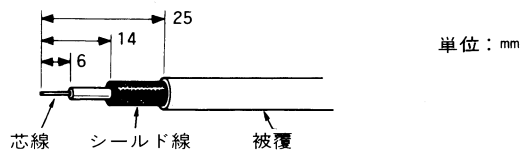
VHF用テレビアンテナのケーブルを本機のANT IN端子に接続するときに使用します。

●アンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

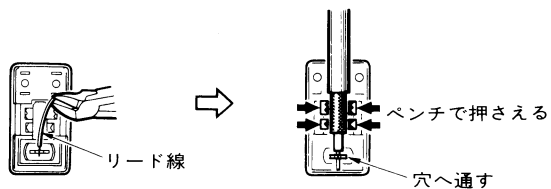
1 F型プラグアダプターのツメを内側に押さえてキャップをはずします。



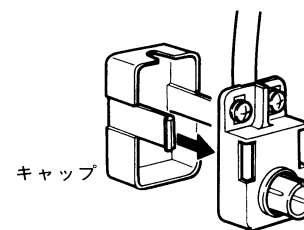
2 同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。



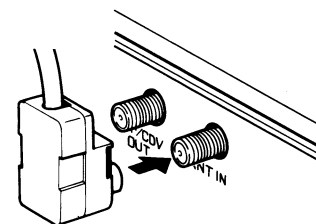
3 赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように穴に通し、ペンチで押さえます。



4 キャップの先端部を入れ、次に後部を押し込みます。



5 F型プラグアダプターを本機のANT IN端子にしっかり差し込みます。

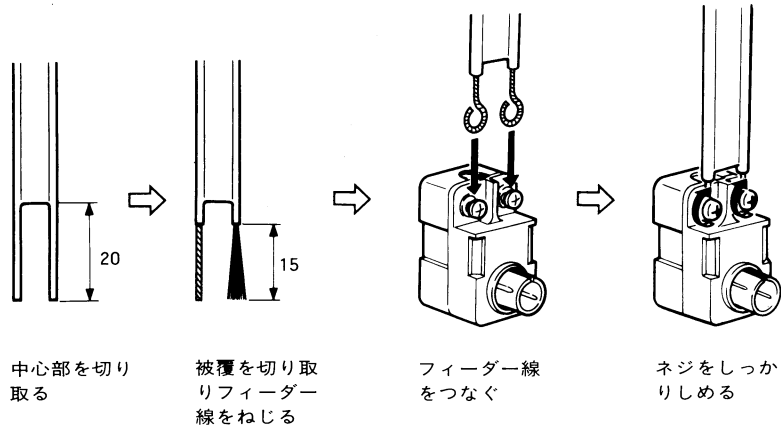


■付属のRFケーブルの加工のしかた

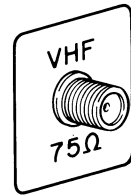
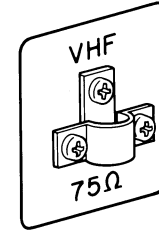
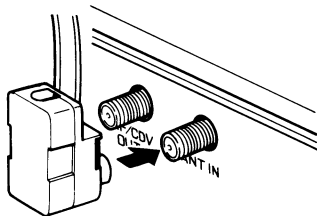
- テレビのVHFアンテナ入力端子がF型ターミナルでない場合は、RFケーブルの一端を加工して接続します。

●アンテナケーブルが平行フィーダーの場合

- 1 F型プラグアダプターのターミナルに平行フィーダーを接続します。



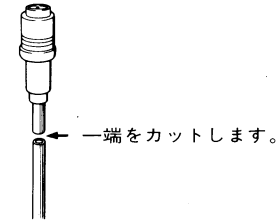
- 2 F型プラグアダプターを本機のANT IN端子にしっかり差込みます。



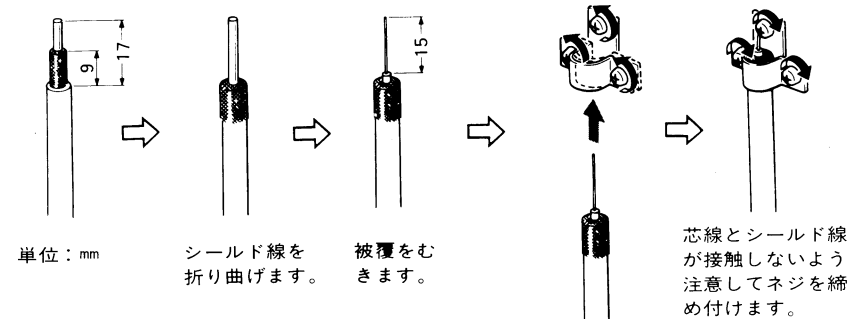
F型ターミナルでない場合：下記の要領で加工してください。

F型ターミナル：この場合は加工の必要はありません。

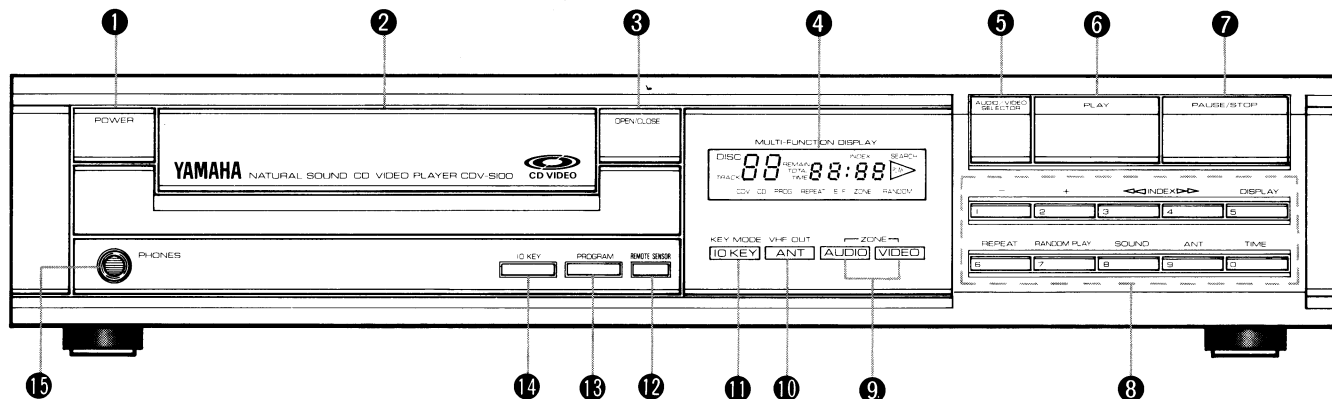
- 1 RFケーブルの片方のプラグ側を切断します。



- 2 ケーブルの先端を加工して、取り付けます。



フロントパネルの名称とはたらき



① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。手で軽く押すか、PLAYキーを押しても閉じることができますが、この場合はそのまま再生が始まります。

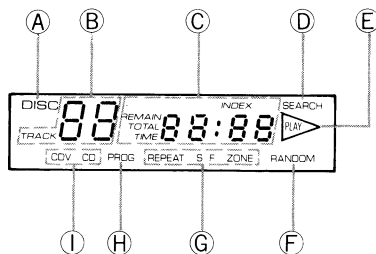
③ OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。

再生中に押すと、再生はストップしディスクトレイが開きます。

④ MULTI-FUNCTION DISPLAY

ディスクに記録されている情報の表示やプログラム、リピートモードなどの表示を行います。



⑤ DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクが正しくセットされていると点灯します。

⑥ TRACK(曲番)インジケータ

再生中の曲番(トラックナンバー)を表示します。ディスクをセットしてOPEN/CLOSEキーでディスクトレイを閉じたときは、約3秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

⑦ タイム/INDEX/プログラムナンバーインジケータ

時間、インデックスナンバー、プログラムナンバーを表示します。ディスクをセットしてOPEN/CLOSEキーでディスクトレイを閉じたときは、約3秒間そのディスクの総再生時間を表示します。

REMAIN TIME 88:88	残量時間表示
TOTAL TIME 88:88	総再生時間表示
TIME 88:88	再生中の曲の経過時間表示
INDEX 88	インデックスナンバー表示
P-01	プログラムナンバー表示

⑧ SEARCHインジケータ

選曲中に点灯します。

⑨ PLAYインジケータ

再生中に点灯します。ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

⑥ ^{ランダム}RANDOMインジケータ

ランダム再生モードのとき点灯します。

⑦ REPEAT ^{リピート}S、^{シングル}F、^{フル}ZONEインジケータ

リピート再生の種類を表示します。

REPEAT S : シングル(一曲)リピート

REPEAT F : フル(全曲)リピート

REPEAT ZONE : ゾーンリピート(CDVのみ)

⑧ ^{プログラム}PROGインジケータ

プログラムセット中は点滅し、プログラム確認および再生中は点灯します。

① ディスクインジケータ

ディスクの種類を表示します。

⑤ ^{オーディオ}AUDIO/^{ビデオ}VIDEO SELECTORキー(このキーはCDVのときのみ機能します。)

このキーを押すと、ビデオパートの始め、またはオーディオパートの始めをサーチし、ワンタッチで頭出しができます。(AUDIO/VIDEO SELECTORについて→16ページ)

⑥ ^{プレイ}PLAYキー 再生をスタートさせるキーです。

⑦ ^{ポーズ}PAUSE/^{ストップ}STOPキー

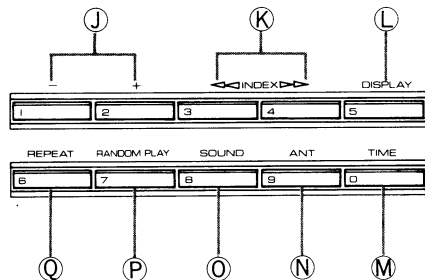
一度押すとポーズ(一時停止)、二度押すとストップ(停止)します。

⑧ ^{テン}メイン操作/10キー

これらのキーは、それぞれ二つの機能を持っています。モードの選択は⑩10KEYを押すごとに変わります。

●10キーモードのとき (^{KEY MODE}10KEY ←点灯時)
0~9の数字キーとしてはたらしき曲番の指定ができます。(選曲のしかた→20ページ)

●メイン操作キーモードのとき (^{KEY MODE}10KEY ←消灯時)
各キーの上部に表示されている機能になります。(下図参照)



④ ^{マイナス}“-”キー、^{プラス}“+”キー

再生したい曲の頭出しができます。

	ストップ時	再生時	ポーズ時
+	次の曲の頭でストップ	次の曲の頭から再生	次の曲の頭でポーズ
-	前の曲の頭でストップ	再生中の曲の頭に 戻って再生	ポーズ中の曲の頭で ポーズ

押すごとに一曲ずつ変化し、押し続けると連続的に変化します。

⑤ ^{早戻し}◀◀ INDEX ^{早送り}▶▶キー

インデックスナンバーの指定や早送り・早戻しができます。

ストップ時：インデックスナンバーの指定ができます。

“◀◀”キーを押すとインデックスナンバーが小さくなり、“▶▶”キーを押すと大きくなります。

再生時、

ポーズ時 : 早送り・早戻しができます。

指を離れた位置から再生またはポーズ状態になります。

3秒以上押し続けると高速で早送り・早戻しします。

④ ^{ディスプレイ}DISPLAYキー

本体ディスプレイおよびテレビ画面表示の内容を切り換えることができます。キーを押すごとに、表示が、TIME(再生中の曲の経過時間)→REMAIN TIME(再生残り時間)→TOTAL TIMEの順に切り換わります。(表示切換について→18ページ)

ただし、TOTAL TIMEは、本体ディスプレイ表示は総再生時間、テレビ画面表示は総再生経過時間となります。

⑤ ^{タイム}TIMEキー

CDVビデオパート再生中にこのキーを押すと、再生画面上に曲番、インデックスナンバー、再生中の曲の経過時間を表示させることができます。もう一度押すと消えます。(表示切換について→18ページ)

⑤ ^{アンテナ}ANTキー

映像/音声入力端子を持たないテレビと接続している場合、本機の再生とテレビ放送の受信を切り換えるキーです。

(テレビ放送を見るには→26ページ)

リモコンの名称とはたらき

⑧ SOUNDキー

音声をステレオモード、L,R両チャンネルともLch信号、L,R両チャンネルともRch信号に切り換えるキーです。(音声切替について→19ページ)

⑧ RANDOM PLAYキー

ディスクに収録されている曲を、ランダム(順不同)に再生させるキーです。(ランダム再生→25ページ)

⑧ REPEATキー

リピート再生を行なうときに、その設定や解除を行なうキーです。(リピート再生→24ページ)

⑨ ZONEインジケータ

VIDEO: CDVのビデオパート再生またはストップ時に点灯します。
AUDIO: CDとCDVのオーディオパート再生またはストップ時に点灯します。

⑧ VHF OUTインジケータ

ANT: テレビ放送の受信になっているとき点灯します。

⑧ KEY MODEインジケータ

10KEY: ⑧ “メイン操作/10キー”が10キーモードになっているとき点灯します。
メイン操作キーモードのときは消灯しています。

⑧ REMOTE SENSOR

リモコンからの信号を受信するところです。

⑧ PROGRAMキー

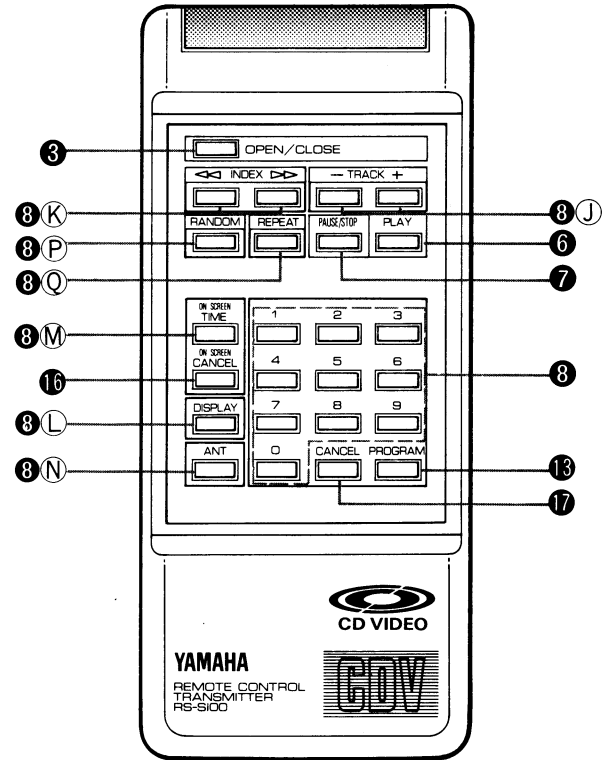
再生したい曲を任意の順番で再生(プログラム再生)するときに、その設定や確認を行なうキーです。(プログラム再生→21ページ)

⑧ 10 KEY

このキーを押すと、⑧ “メイン操作/10キー”のモードが切り換わります。押すたびにメイン操作キーモードと10キーモードが切り換わり、KEY MODEインジケータの10KEYが点灯したり、消えたりします。

⑧ PHONESジャック

ヘッドホンを接続するジャックです。アンプを経由せず直接モニターすることができます。



⑧ ON SCREEN CANCELキー

このキーを押すとテレビ画面表示を消すことができます。もう一度押すとテレビ画面表示に戻ります。

⑧ CANCELキー

このキーを押すと選曲した曲がクリアされます。また、プログラムした曲は、全てクリアされます。

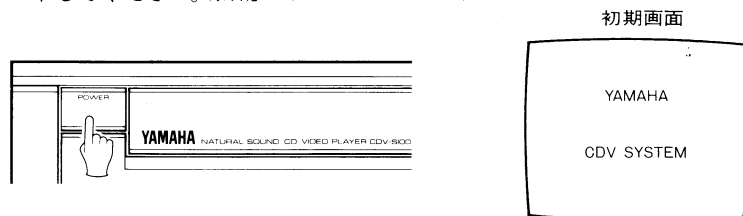
※リモコンのこの他のキーは、本体のキーと同様の機能です。

再生のしかた(基本操作)

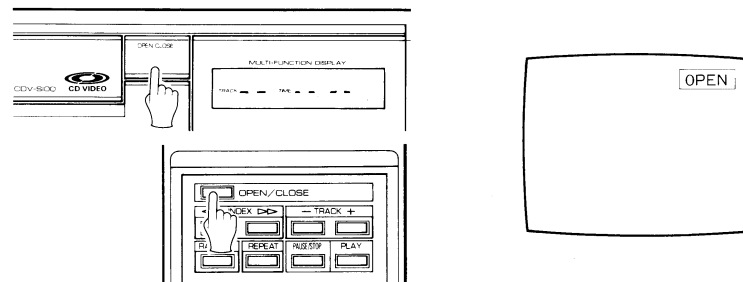
リモコンで操作するときには対応するキーをお使いください。

1 電源を入れます。

※CDVを再生するときには接続したテレビが本機の再生を受像できるようにセッ
トしてください。(接続のしかた→8ページ)

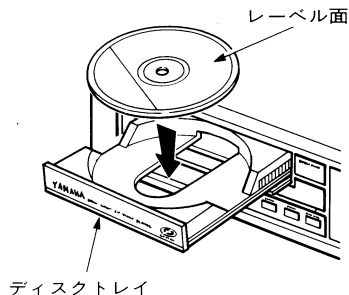


2 ディスクトレイを開けます。

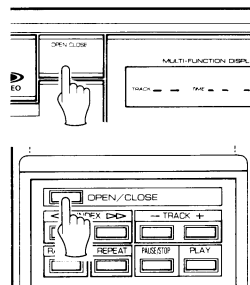


3 ディスクをセットします。

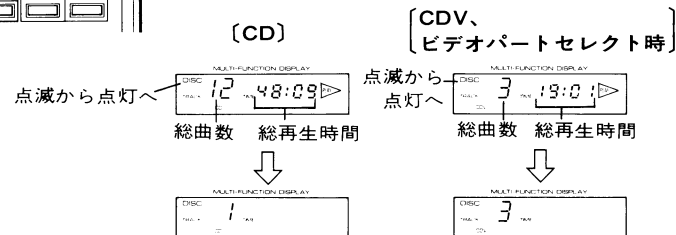
ディスクをケースから取り出し、レー
ベル面を上にしてディスクトレイにのせま
す。CDおよびCDVの信号はレーベル面
の反対側の片面だけに記録されています。



4 ディスクトレイを閉めます。



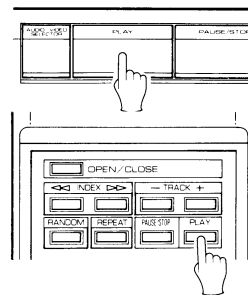
ディスクトレイが閉まり、本機がディスクに収
められている情報を読み込む数秒間 DISC イン
ジケーターが点滅、その後点灯に変わります。
ディスプレイは、そのディスクに収められてい
る総曲数と総再生時間を約3秒間表示した後、
CDの場合は一曲目の頭で、CDVの場合はAUDIO
/VIDEO SELECTORキーで選択されている
パートの頭でストップ状態になります。



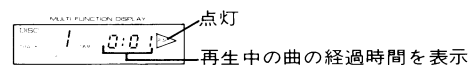
●オートスタートについて

ディスクトレイを手で軽く押すか、PLAYキーを押してディスクトレイを閉め
ると、自動的に再生が始まります。また、ディスクがセットされた状態で電源
をONにしたときも自動的に再生が始まります。これらの場合は、総曲数、総再
生時間は表示せずに再生が始まります。

5 再生を始めます。



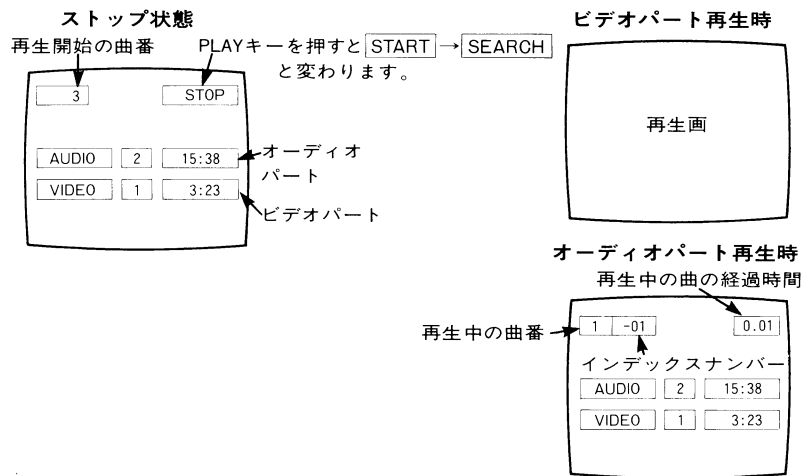
CD : 一曲目から再生がスタートし最後の曲まで
連続して再生します。
CDV : AUDIO/VIDEO SELECTORキーで選択
されているパートから再生がスタートし、
自動的に最後の曲まで連続して再生します。
ディスプレイは曲番と曲ごとの再生経過時間を表
示し、再生が終了するとストップ状態になります。



■画面表示について

CDVのビデオパート再生中以外るとき、画面には曲番とその曲の再生経過時間、オーディオパートの総曲数と総再生時間、ビデオパートの総曲数と総再生時間が表示されます。(CDのときも表示します。CDのときはビデオパート表示は空欄です。)

例：オーディオパート 2曲、総再生時間 15分38秒
ビデオパート 1曲、総再生時間 3分23秒
のディスクをセットすると



■AUDIO/VIDEO SELECTORについて

CDVのときAUDIO/VIDEO SELECTORキーを押すと、ビデオパートまたはオーディオパートを、選択することができます。

※このキーはCDでは機能しません。

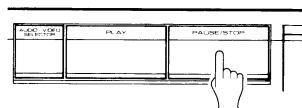
●再生中

再生パート	AUDIO/VIDEO SELECTORキーを押すと
AUDIO	ビデオパートを頭出しします。
VIDEO	オーディオパートを頭出しします。

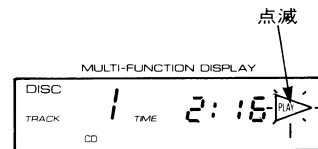
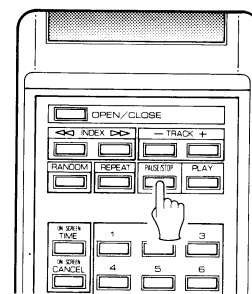
●ストップ時

再生開始するパートを交互に切り換えることができます。

■再生を一時止めるには……………ポーズ

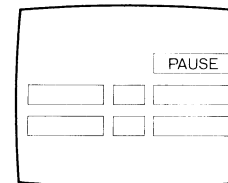
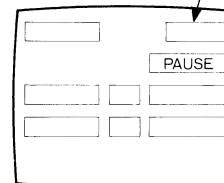


PAUSE/STOPキーを一回押します。
ディスプレイのPLAYインジケーターが点滅します。



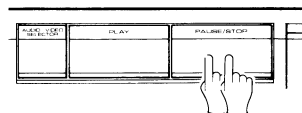
〔CD再生時・CDV、オーディオパート再生時〕
再生経過時間が赤で表示される

〔CDV、ビデオパート再生時〕

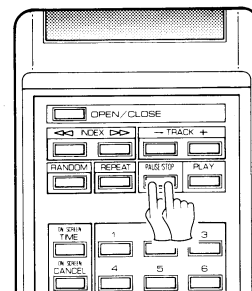


- 再生を再開するときは、PLAYキーを押します。
- ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押すと、ストップ状態になります。

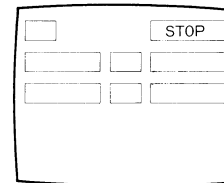
■再生を止めるには……………ストップ






PAUSE/STOPキーを2回押します。
ストップ状態になり、
ディスクの回転は停止します。



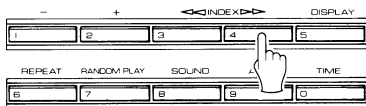
ストップ状態になります



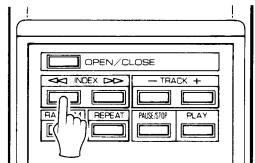
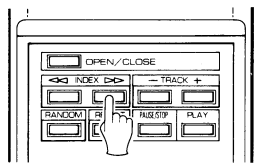
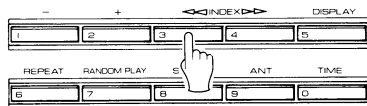
■早送り・早戻しについて(← 消灯時)

再生中に  キーを使うと再生したいところを探すことができます。
""キーを押すと早送り、""キーを押すと早戻しになります。押し始めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り・早戻し再生になります。

●早送り

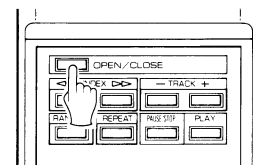
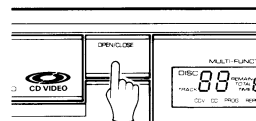


●早戻し



- CDVビデオパートを再生中またはポーズ中に早送り・早戻しするとキーを押している間だけ早送り・早戻しの画像が見られますが、そのとき音声は消えます。再生したいところになりましたらキーから指を離します。その位置から再生またはポーズ状態になります。
※ビデオパートの早送り・早戻しでは画像が乱れることがあります。
- CDまたはCDVオーディオパートを再生中またはポーズ中に早送り・早戻しするとキーを押している間だけ早送り・早戻しの再生音を小さな音で聴くことができますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。その位置から再生またはポーズ状態になります。

■ディスクの取り出しかた



OPEN/CLOSEキーを押します。
再生中でもストップしディスクトレイが出てきます。
ディスクトレイが完全に開いてからディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

ご注意

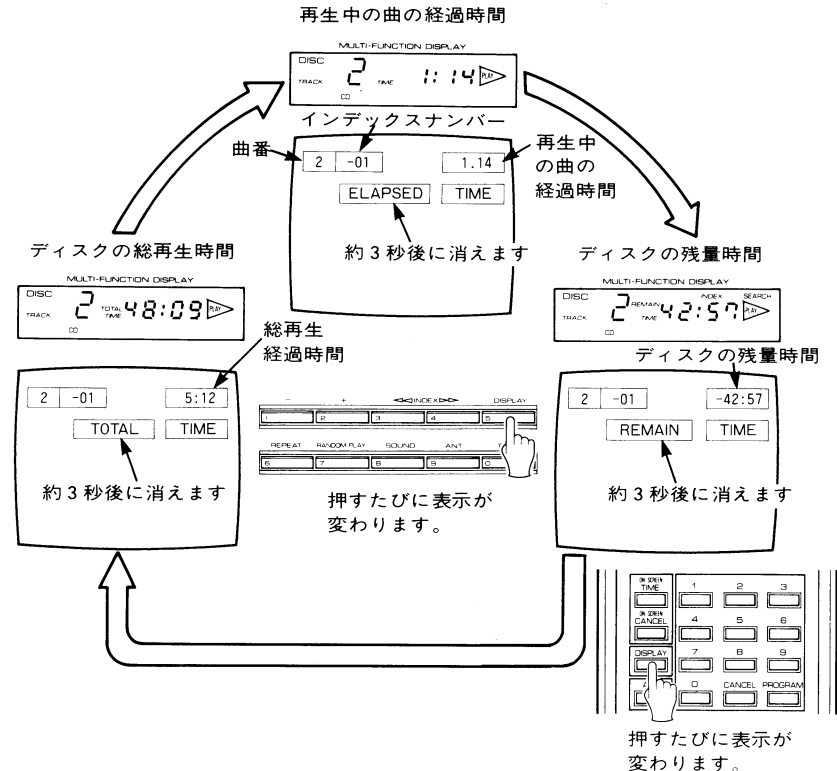
- 再生中は本機を動かさないでください。
再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動するときには必ず再生を止め、ディスクを取り出してから行なってください。
- ディスクトレイに不要物を入れないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐためディスクトレイは閉めておいてください。
- ディスクにキズや指紋などの汚れがありますと再生開始時間が遅れたり、音トビ現象を起こすことがあります。
- 偏芯したり、反ったディスクは再生中に異音を発したり、故障の原因となることがありますのでご使用にならないでください。
- ディスクを誤って裏返しにセットした時や、ディスクにキズやひどい汚れがある場合にはディスクトレイが出てきます。又本体のディスプレイには異常であることを知らせる「E-○○」の様なエラーメッセージが表示されます。その様な場合には5ページの「ディスクの取り扱い」をよく読んで正しくディスクをセットしてからやり直してご使用ください。

表示切替について

CD、CDVオーディオパート再生時

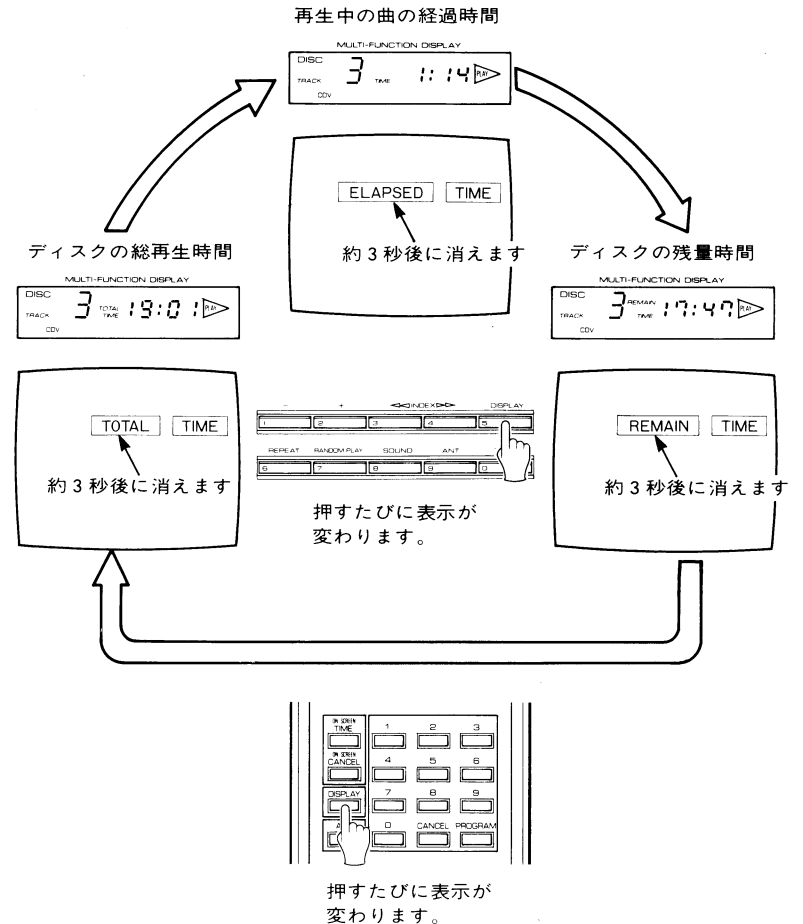
本体及びリモコンのDISPLAYキー（KEY MODE ← **IO KEY** ← 消灯時）を押すごとに、ディスプレイおよび画面表示の内容を切り換えることができます。

- TIME** : 曲ごとの再生経過時間を表示。
画面の時間表示に“:”が表示されます。
- REMAIN TIME** : 再生残り時間を表示。
画面の時間表示に“-”が表示されます。
- TOTAL TIME** : 本体ディスプレイは総再生時間を表示。
画面は総再生経過時間を表示し、“.”が表示されます。



CDVビデオパート再生時

- 本体及びリモコンのDISPLAYキー（KEY MODE ← **IO KEY** ← 消灯時）を押すごとに、ディスプレイ表示の内容をCD/CDVオーディオパート再生時と同様に切り換えることができます。画面には、再生画の上に以下の内容が表示され約3秒後に消えます。

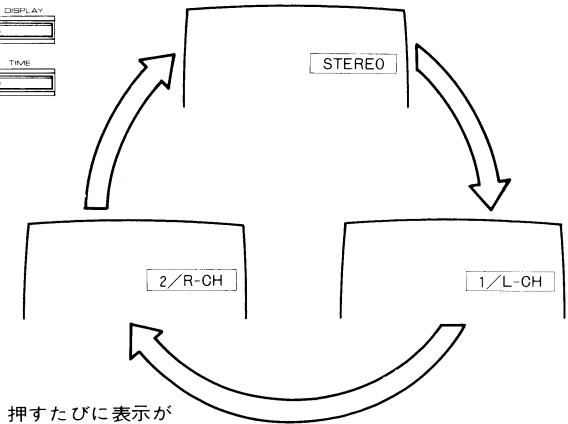
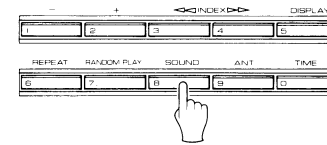


音声切換について

本機は電源を入れたときはSTEREOモードに設定されていますが、本体のSOUNDキー (KEY MODE **10 KEY** ←消灯時) を押すごとに

→STEREO→1 / L - CH→2 / R - CH→

の順に切り換わります。



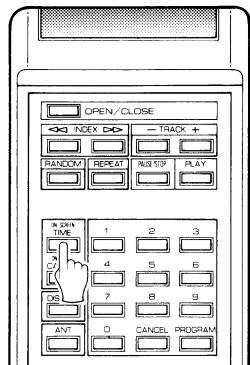
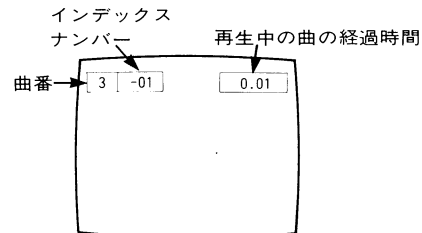
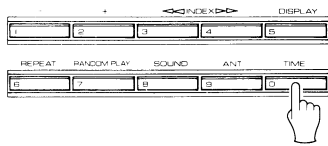
押すたびに表示が変わります。

SOUNDキーによる音声の出力

画面表示	VHF/CDV OUT 端子	AUDIO OUT 端子		MONO 端子
		L 端子	R 端子	
STEREO	1/L、2/Rのミックス (モノラル)	1 / L	2 / R	1/L、2/Rの ミックス(モノラル)
1 / L-CH	1 / L			
2 / R-CH	2 / R			

※ディストレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にSTEREOモードに戻ります。

- 再生中に本体のTIMEキー (KEY MODE **10 KEY** ←消灯時) またはリモコンのON SCREEN TIMEキーを押すと、再生画面上に曲番、インデックスナンバー、再生中の曲の経過時間を表示させることができます。もう一度押すと消えます。



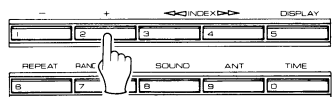
選曲のしかた

リモコンで操作するときには対応するキーをお使いください。

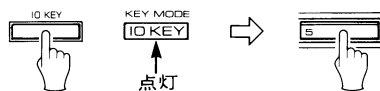
■任意の曲から再生を始めるとき


例：5曲目から再生を始めたいとき

1 曲番を指定します。

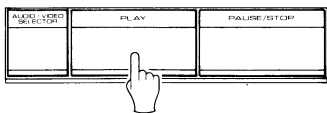


“+”キーを4回押します。または、10KEYを押して10キーモードにしてから曲番を指定します。

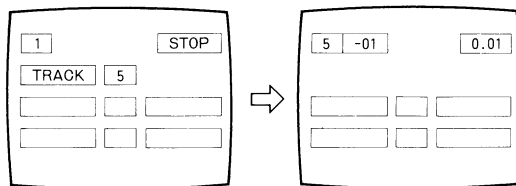
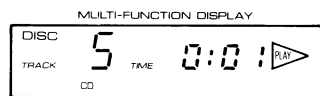


リモコンで操作する場合はそのまま  を押します。

2 再生を始めます。



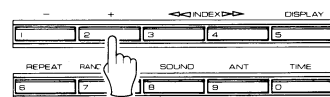
PLAYキーを押します。5曲目から再生が始まります。



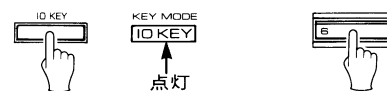
■再生中の選曲


例：3曲目を再生中に、6曲目に飛びたいとき

1 曲番を指定します。

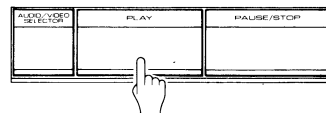


“+”キーを3回押します。(自動的に6曲目の再生が始まります。)または、10KEYを押して10キーモードにしてから曲番を指定します。

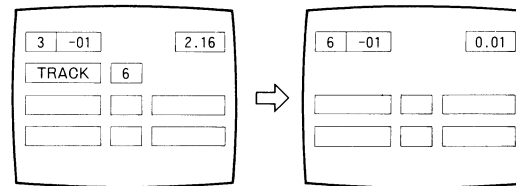
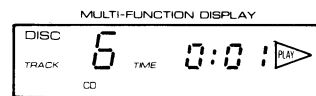


リモコンで操作する場合はそのまま  を押します。

2 10キーで操作したときはPLAYキーを押します。



6曲目の再生が始まります。



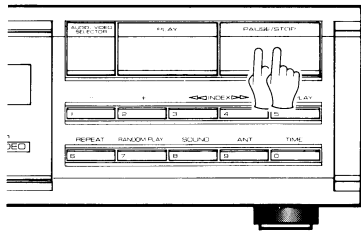
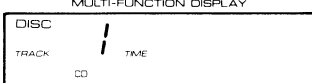
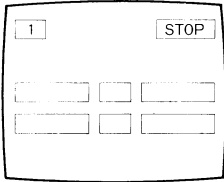
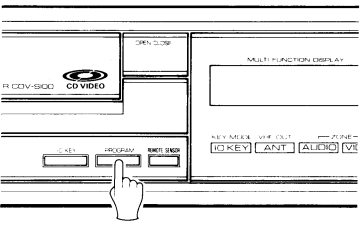
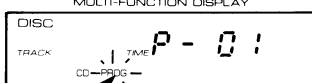
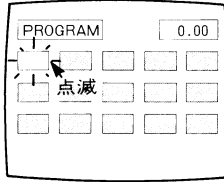
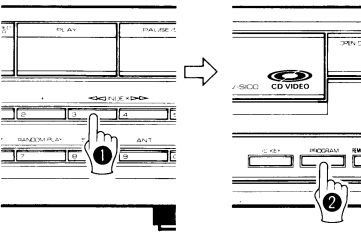
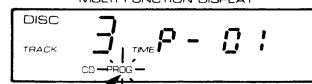
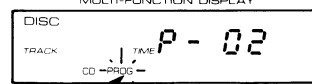
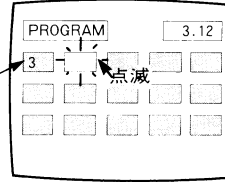
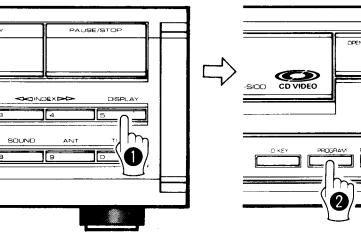
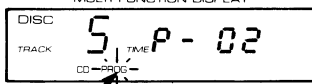
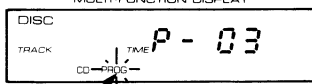
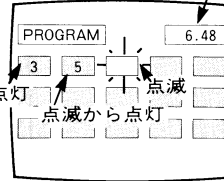
※ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

プログラム再生

リモコンで操作するときには対応するキーをお使いください。

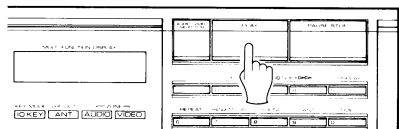
ビデオパート、オーディオパートの区別なく最大15曲まで順番を並べ変えて再生することができます。曲間には、約3秒間のスペースが入ります。

例：3曲目、5曲目の順にプログラムするとき

1	2	3	4
<p>ストップ状態にします。</p>  <p>PAUSE/STOPキーを2回押す。</p>  	<p>PROGRAMキーを押します。</p>   <p>点滅</p> 	<p>10キーで曲番を選んでから、PROGRAMキーを押します。</p>   <p>点滅</p>  <p>点滅</p>  <p>点滅から点灯</p> <p>※10キーモードにして選曲します。 ※曲番は、“-”キー、“+”キーで選ぶこともできます。</p>	<p>再び、10キーで曲番を選んでから、PROGRAMキーを押します。</p>   <p>点滅</p>  <p>点滅</p> <p>プログラムの総再生時間</p>  <p>点滅から点灯</p> <p>これで3曲目、5曲目の順にプログラム再生がセットされました。同様の方法で15曲までプログラムすることができます。</p>

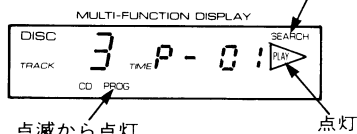
5

PLAYキーを押します。



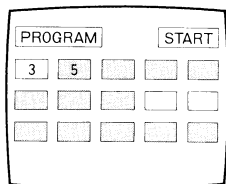
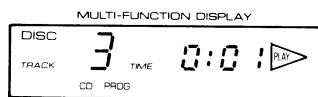
プログラム再生がスタートします。
画面上、再生中の曲番の背景色と数字
色が反転します。

点灯から消灯



点減から点灯

点灯



■プログラムの変更のしかた

1. ストップ状態にします。
2. PROGRAMキーを数回押して画面上の変更したい曲番表示を反転させます。この時、本体ディスプレイのPROGインジケータは点灯となり、新しいプログラムの追加時には点滅となります。
3. 10キーまたは“-”キー、“+”キーで新しい曲番を選びセットし直します。前の曲番が消え、新しい曲番がセットされます。

■プログラムの取り消しかた

全てのプログラムを取り消すには、

- ストップ状態からCANCELキーを押す
- ディスクトレイを開ける
- 電源を切る

などの方法があります。

※ストップ状態からCANCELキーを押してプログラムを取り消した後でPROGRAMキーを押すと、プログラムのセットモードが解除されます。

■プログラム再生中の選曲操作

プログラム再生中に“-”キー、“+”キーを押すと、プログラムされている順番で前後の頭出しをすることができます。

■プログラム再生中の早送り・早戻し

“◀/▶”キーでプログラムに関係なく早送り・早戻しができます。

■プログラムのチェック

ストップ状態でPROGRAMキーを押すと、押すごとに本体ディスプレイは“P-01”から順にプログラム曲番を表示します。本体ディスプレイだけでプログラム内容のチェックができます。

■プログラム再生時の表示切換について

本体のDISPLAYキーを押すごとに、表示内容が次のようになります。(リモコンでは操作できません)

TIME : 再生中の曲の経過時間を表示

REMAIN TIME : プログラムの再生残り時間を表示

TOTAL TIME : 本体ディスプレイはプログラムの総再生時間を表示

画面はプログラムの頭からの再生経過時間を表示

■ご注意

- インデックスのプログラム再生はできません。
- プログラムの総再生時間が99分59秒を越えた場合は、時間表示は消えます。

インデックスサーチ

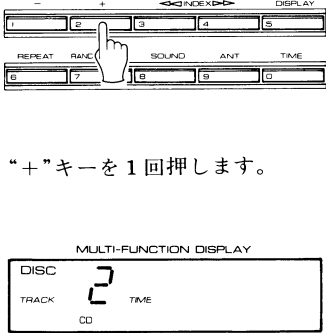
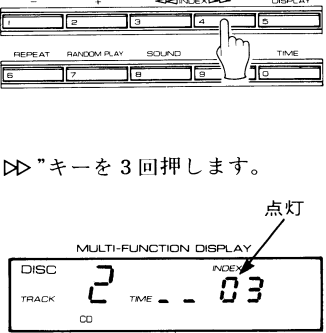
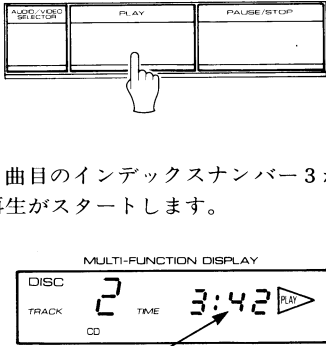
リモコンで操作するときに対応するキーをお使いください。

●インデックスナンバーとは

クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

- インデックスナンバーが記録されているCDディスクには **IN:DEX** マークがディスクの解説書に記載されています。

例：2曲目のインデックスナンバー3から再生をはじめるとき(ストップ状態から操作します。)

1 曲番を指定します。	2 インデックスナンバーを指定します。	3 PLAYキーを押します。
 <p>“+”キーを1回押します。</p>	 <p>“INDEX”キーを3回押します。</p>	 <p>2曲目のインデックスナンバー3から再生がスタートします。</p>

- ※選択した曲に記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定すると、次の曲を再生します。また、CDVのオーディオパートの最後の曲にこのような指定をすると、ストップ状態になります。
- ※インデックスナンバーが記録されていないディスクの再生中も画面には“-01”が表示されます。
- ※インデックスナンバーが記録されていないディスクに“2”以上のインデックスナンバーを指定すると、次の曲の頭から再生します。
- ※インデックスサーチを解除するときは、リモコンのCANCELキーを押してください。

リピート再生

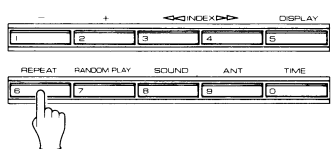
リモコンで操作するときには対応するキーをお使いください。

ディスクの全曲または再生したい一曲だけを繰り返して再生することができます。CDVのときはさらに、ビデオパートのみ、またはオーディオパートのみを繰り返して再生することができます。

リピート再生には4種類あります。ストップ状態、再生中、どちらでもセットできます。

- ゾーンリピート (REPEAT ZONE) : CDVのビデオパートのみ、またはオーディオパートのみを繰り返して再生します。
- フルリピート (REPEAT F) : ディスクの全曲を繰り返して再生します。
- シングルリピート (REPEAT S) : 1曲だけを繰り返して再生します。
- プログラムリピート : プログラムした曲全部を繰り返して再生します。

ゾーンリピート(CDVのみ)



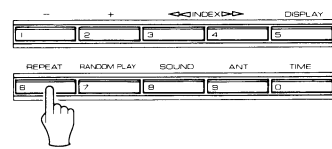
ビデオパートのみ、またはオーディオパートのみを繰り返して再生します。画面には“REP ZONE”が一度表示されます。

ディスプレイに“ZONE”が表示されるまで押します。



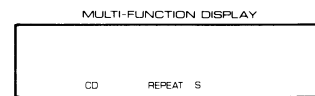
“REPEAT”と“ZONE”が点灯します。

シングルリピート



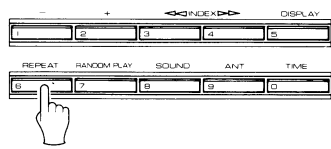
表示されている曲を繰り返して再生します。画面には“REP SINGLE”が一度表示されます。

ディスプレイに“S”が表示されるまで押します。



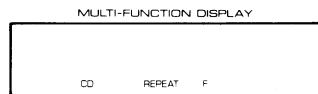
“REPEAT”と“S”が点灯します。

フルリピート



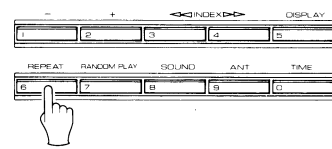
ディスクの全曲を繰り返して再生します。画面には“REP FULL”が一度表示されます。

ディスプレイに“F”が表示されるまで押します。



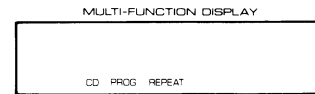
“REPEAT”と“F”が点灯します。

プログラムリピート



プログラムした曲全部を繰り返して再生します。画面には“REP FULL”が一度表示されます。

ディスプレイに“REPEAT”が表示されるまで押します。



“REPEAT”が点灯します。

※リピートを解除するときには、REPEATキーを押してディスプレイのリピート表示を消してください。画面に“REP OFF”が一度表示されます。また、トレイを開けるとシングルリピートのみ解除されます。

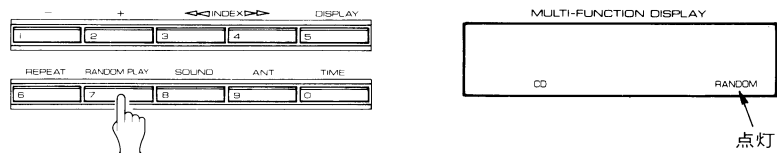
ランダム再生

リモコン操作するときには対応するキーをお使いください。

- ディスクに収録されている曲を本機がランダム(順不同)に並べ変えて再生します。
- ランダム再生は一通りの再生が終了すると、ストップ状態になります。

ランダム再生のしかた

ストップ状態、あるいは再生中にRANDOM PLAYキーを押します。



※プログラムのランダム再生はできません。

※ランダム再生を解除するときは、もう一度RANDOM PLAYキー押してください。
また、トレイを開けたときにも解除されます。

タイマー再生

市販のオーディオタイマーと組み合わせると、ご希望の時間に再生を始めることができます。

- ①本機の電源プラグをアンプの連動コンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③アンプおよび本機の電源スイッチを入れてディスクをセットします。
- ④アンプのインプットセレクターを本機が接続されているポジションにセットし、音量を調節します。
- ⑤タイマーで再生開始時間と終了時間をセットします。

このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。

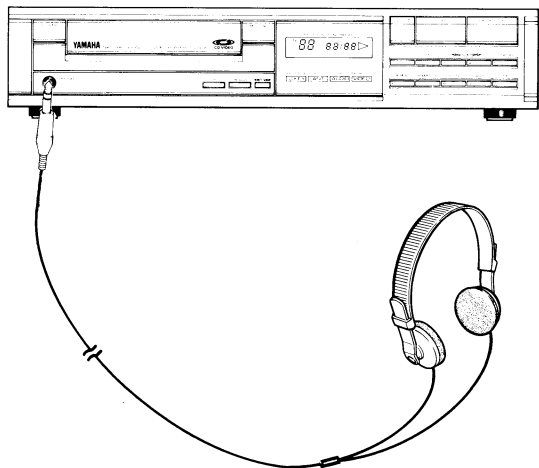
(タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。)

以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的に一曲目から再生が始まります。

※プログラム再生、リピート再生はできません。

ヘッドホンについて

本機のPHONESジャックを利用すれば、ヘッドホン(別売)で演奏をお楽しみいただけます。



ヘッドホンはL,Rを確かめて正しくお使いください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

テレビ放送を見るには

■映像/音声入力端子を持たないテレビの場合

本体、またはリモコンのANTキーを押し、本体のVHF OUTインジケータの“ANT”を点灯させ、テレビを見たいチャンネルに合わせます。

※ディスク再生中にVHF OUTインジケータの“ANT”を点灯させた場合は、画面はテレビ受信に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送を見る場合は、ディスクを取り出して本機の電源スイッチを切るようにしてください。

■映像/音声入力端子のあるテレビの場合

テレビのテレビ/ビデオ切替スイッチを“テレビ”に切り換えます。(テレビの取扱説明書をご参照ください。)

※画面はテレビ受信に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送を見る場合は、ディスクを取り出して本機の電源スイッチを切るようにしてください。

ご注意

テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にしま模様が出ることがありますが故障ではありません。このような場合は、本機のPOWERスイッチを押して電源を切ってください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
ディスクトレイが出てきてしまう	ディスクがひどく汚れている	5ページの要領でクリーニングしてください
	ディスクを裏がえしにセットしている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	電池を交換してください
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7 m以内、30°以内で操作してください
リモコンを操作するとテレビが誤作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合	テレビが本機のそばにセットされている
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

CDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください
	テレビのVHF入力を使用している場合	本機の送り出しチャンネルとテレビのチャンネルが合っていない
	ANTインジケータが点灯している	ANTキーを一回押して、インジケータを消灯させる
テレビ番組(VHF放送)が映らない	VHFアンテナの接続が不完全	VHFアンテナを正しく接続し直してください
	ANTインジケータが点灯している	ANTキーを一回押してインジケータを点灯させ、テレビ受信に切り換えてください。
テレビ番組(UHF放送)が映らない	UHFアンテナを本機のANT IN端子に接続している	UHFアンテナは、直接テレビのUHF入力端子に接続してください
テレビ番組の映りが悪い 画面にしま模様が入る	電波の弱い地域ではこのような症状が出る場合があります	テレビ番組を見るときは本機の電源を切ってください
面質が悪い 画面が乱れる	ディスクがひどく汚れている	5ページの要領でクリーニングしてください。

CDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声が出ない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合 音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください

CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクを入れても再生が始まらない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	ディスクがひどく汚れている	5ページの要領でクリーニングしてください。
音が出ない	接続が不完全	正しく接続し直してください

参考仕様

型式	CDビデオシステム
使用ディスク	CDV 12cmディスク ビデオパート 最長5分 再生可 オーディオパート 最長20分 再生可
	CD 12cmディスク オーディオのみ 最長70分 再生可
回転数	CDV ビデオパート 2700~1800rpm オーディオパート 500~300rpm
	CD 500~200rpm
周波数特性	5 Hz~20kHz ± 0.5 dB
S/N比	100dB
チャンネルセパレーション	90dB以上(1 kHz)
ワウ・フラッタ	測定検知限以下
高周波歪率+雑音	0.004%(1 kHz 0 dB)

■入出力端子

入力 ANT IN	VHF入力(75 Ω)
出力 VIDEO OUT	1 V _{p-p} (75 Ω 負荷時、同期負) ピンジャック
VHF/CDV OUT	NTSC方式標準TV受像機に適合 F型ジャック(75 Ω 不平衡) 1チャンネル/2チャンネル 切り換え可
MONO	モノラルTV、VTR用 ピンジャック 2 V(1 kHz、0 dB)
AUDIO OUT	2 V(1 kHz、0 dB)
PHONES	150mV/8 Ω (1 kHz、0 dB)

■総 合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	17W
重量	5 kg
外形寸法	435(W)×92(H)×290(D)mm
許容動作温度/湿度	+5~35°C / 0~90%(結露のないこと)

■付属品

リモートコントロールユニット (RS-S100)
乾電池 単3 (SUM-3)×2
F型プラグアダプター×1
RFケーブル×1
音声ケーブル×1
映像ケーブル×1

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

(昭和62年10月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 北関東営業所 TEL(03)255-1825 東京営業所 TEL(03)255-2302
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いぎん広島ビル内 中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

定休日 日・月・祭日

営業時間 午前9時～午後5時30分

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA